

私たちのコロナ対策

～集落活動センター活動再開に向けて～

本日お伝えしたいこと

1. コロナウィルスについて
2. 基本原則
3. スタッフの健康管理
4. 複数グループの受け入れ
5. 受付、食堂、清掃の留意点
6. その他



さんすい防災研究所

代表 山崎 水紀夫

自己紹介：名は体を表す（水危男）

17歳：仁淀川河口で遊泳中沖合に流されサーファーに救助されマスコミデビューを果たす。

18歳：高波にさらわれた小学生を助け、水難救助により人命救助表彰を受ける。

※この頃から年賀状の宛名が水危男で届く。

26歳：ダイビングライセンスを取得。

国内海外の海を潜り歩き水に癒される。（水喜男）

34歳：98高知豪雨発生。災害ボランティアセンターの代表を務める。

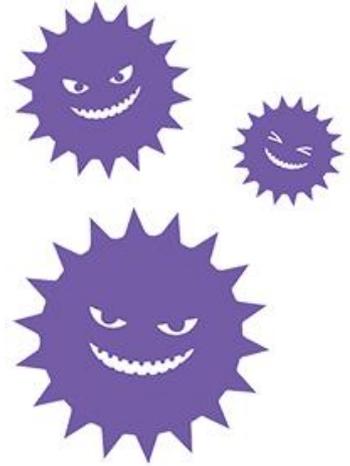
※干支は辰年、星座はうお座。

祖父は村長として11mの豪雪、総雨量900mmの災害に遭遇。災害復旧の過労で現職死亡（昭和40年）

新型コロナウイルスについて

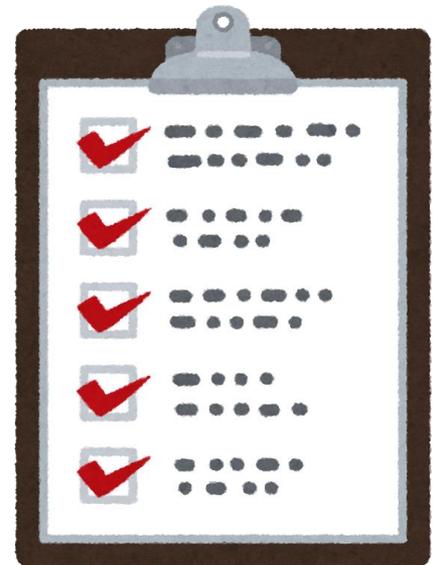
1. 特徴

- ・高齢者や循環器系の患者は重症化の傾向
- ・無症状の感染者が感染源となりやすい
- ・100%予防できる方法はない



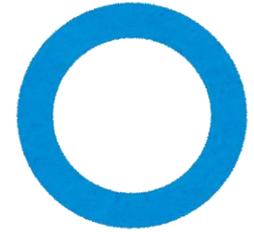
2. 災害対策の基本は「正しく恐れ、正しく対処」

- ・可能な限りの対策を実施
指針やガイドラインは必須(口頭ではダメ)
→それを遵守したかどうか
→それでも完璧に防ぐ方法はない
座して収束(ワクチン開発)まで待つ?
チャレンジする?
- ・最後は腹をくくれるかどうか



基本原則

1. ウィルスを持ち込ませない
 - スタッフ、お客様双方のマスク着用
 - 利用後の消毒
2. 3密を避ける(密閉・密集・密接)
近距離での大声での会話に注意
3. 距離の確保
 - 最低1m
 - 正面で対応しない
4. 換気
1時間に10分程度
5. 定員の設定
室内では定員の半分(1/2程度)



ソーシャル



ディスタンス



スタッフの健康管理

1. 休む勇気が必要

- ・体温測定し発熱、咳など風邪の症状
- ・倦怠感、息苦しさ、下痢、味覚・嗅覚障害
- ・同居家族の中で上記症状がある

2. スタッフ全員の行動で予防

- ・マスク着用
- ・手洗い、消毒の徹底
- ・スタッフ間も適度な距離を
- ・大声で話さない



利用形態（複数グループの受け入れ）

1. 単独のグループ利用

- スタッフとお客様の距離を取る
- 家族や車で乗り合わせの場合はそれなりに

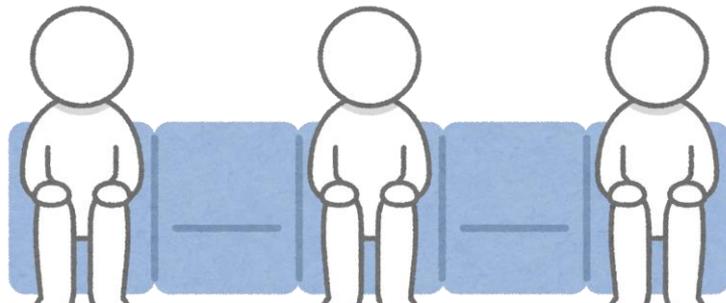
2. 複数グループが利用する場合

- 時間差をつけての利用として接触機会を減らす（体験の種類による）
- 作業空間など共用物品や手が頻回に触れる機会を減らし、その都度消毒すること
- グループ間の距離は2m
- 宿泊は階を分ける、部屋の両端にするなどの配慮



お客様へのお願い

1. お客様の協力がないとコロナ対策はできない
 - 無頓着でもなく、神経質になりすぎず
 - 高齢者が多い地区なので発症者をだすとおおごとに
 - お互いに気持ちよく配慮しましょう
2. お客様にお願いすること
 - スタッフとお客様とも一定距離をとらせていただくこと
 - 滞在中のマスク着用と手洗い、消毒
 - 横並び配席のお願い
 - 別グループとの距離確保
 - 体調不良時は申し出ること



3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年8月12日変更)						
判断指標 ※1	ステージ	ゼロ (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
	直近7日間の新規感染者数	0人	1人以上	14人以上	105人以上	175人以上
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<input type="checkbox"/> 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1~2m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに喚気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 <input type="checkbox"/> 各店舗における適切な感染対策の徹底				
	国の分科会のステージ区分	I 散発的発生		II 漸増	III 急増	IV 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設	開館		屋内施設の休館を検討		休館
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断				

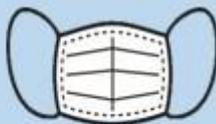
・情報は常に更新されるので最新情報を入手してください
 ・現在のステージは地域本部や保健所等を通じてお聞きください

イベント（地域の行事）開催に当たっての 感染防止策（例）

【実施してほしいこと】

□ マスクの着用

（※気温・湿度の高い中でのマスク着用は熱中症に注意
屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクをはずす）



□ こまめな手洗い 手指の消毒



□ 室内の換気

（暑さを避けるため、エアコンを利用するなど、部屋の温度を調整）

□ 席を離すなどの十分な距離の確保

□ 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所を定期的に消毒

□ 参加者の連絡先の把握

□ ゴミを回収する人は、マスクや手袋の着用

【控えてほしいこと】

□ 発熱等の症状がある方の参加

□ 密閉空間での大声の発生、 歌唱や声援



【食事をする場合は】

□ 大皿は避けて、料理は個々にする

□ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避ける



コロナに勝つ！コロナに負ける

1. コロナよりも人が怖い

- ・疑心暗鬼、陽性患者への非難、差別
- ・活動が停滞＝真綿で首を絞められるように弱る
- ・高齢者は生活不活発病の心配

2. 地域みんなで活動を後押し

- ・地域内での商売や地域活動への理解が必要
- ・感染ゼロ＝勝ちとは限らない(予防の過程が重要)
- ・地域の将来像を考えての行動を



ほんなら再開(するぜよ・するぞね)

- 地域活動を2年続けて休むと活動再開は困難
- 高齢者が外部との接触を避け引きこもることで起きる影響と比較しよう
- ストレスは万病の元。(一定の対策をしたらくよくよ考えない)

